

【目次】

農業研究所の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

イチオン成果情報の紹介

【すぐに普及に移せる成果】

サルの侵入防止用電気柵「おじろ用心棒」の効果検証・・・・・・・・・・ 2-3

極早生ウンシュウの着色促進及び日焼け軽減対策・・・・・・・・・・ 4-5

キャベツにおけるリン酸の減肥基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-7

かぶせ茶の品質を高めるための直掛け段階被覆技術・・・・・・・・・・ 8-9

【これから普及が期待される成果】

硬質小麦「ユメシホウ」が奨励（認定）品種に採用され、
大規模な試験栽培が開始されます・・・・・・・・・・ 10-11

県の成果情報について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

農業研究所の取り組み

三重県農業研究所 研究戦略課

皆様には、平素より農業研究の推進にご理解、ご協力を賜り、こころよりお礼申し上げます。

三重県農業研究所では、「農業研究所のミッション」、「基本方針」を平成24年度に策定し、農業が魅力的な産業として発展できるような技術革新に取り組むこと、また、農業研究所の知恵と強みを使い、地域や現場の問題を解決し、地域社会に貢献することを目指しております。これらのミッションを達成するため、平成25年度には大幅な組織改編を行い、フード・循環研究課や地域連携研究課の新設など、8研究課＋3研究室の研究体制とし、栽培環境の変化や生産者および食品関連事業者等の多様なニーズに的確に対応できる体制といたしました。

また、「儲かる農業」を実現・推進するため、農業研究所と事業者をつなぐコーディネーターや食品関連事業者等と連携し、実用化（商品化）につながる研究にも力を入れているところです。特に、農業技術や新品種の開発段階から、実需者等の関係者にご意見をいただき、研究の出口としての「技術の実用化（商品化）」を常に意識した研究活動を進めております。

第3集となりました本研究成果情報集では、すぐに普及に移せる技術として4課題、これから普及が期待される成果として1課題を紹介しております。

今後とも、県民の皆様や地域の期待に応えられるよう、努力してまいりますので、格別のご指導・ご支援をお願い申し上げます。